

# 賛助会員

## 入会のご案内

### 公益財団法人 自然農法国際研究開発センター

現在、日本の農業人口は減少の一途をたどっています。日本の豊かな自然を守り、人々の健康に益する作物を生産する自然農法や有機農業の担い手が今ほど求められている時代はありません。自然の力を生かした農業技術の開発と後継者の育成、有機農業に適した種子の品種育成に皆様のご支援をお願いします。

自然農法センター  
展示園場

特色  
その1

#### 慣行農法からの転換を 容易にする「育土」技術を研究

化学合成農業や化学肥料を使用した慣行農法から、自然農法や有機農業に移行するためには、土の力を最大限に生かした栽培技術に転換する必要があります。当センターでは、水田と畑作について、短期間で慣行農法と遜色のない作物を栽培する技術をめざして研究活動を行っています。



特色  
その2

#### 未来の有機農業を担う 人材を育成

当センターでは、毎年自然農法や有機農業を志す人々を研修生として受け入れています。研修生は、寮生活を送りながら、各種講義や園場での実習を通して自然農法の技術を学びます。現在まで修了生約100名のうち、半数近くが当センターで学んだ技術を生かして、全国各地で就農しています。研修生は、食費の一部を負担していますが、寮費や講師の謝礼などは当センターが負担しています。



特色  
その3

## 人間の健康と自然を守る種を 育てる

現在、世界的な大企業が、遺伝子組み換え品種を開発し、化学合成農薬や化学肥料を使用しなければ育たない作物を広めようとしています。当センターでは、一貫して自然農法や有機農業に適した品種の育成を行ってきました。在来の品種を組み合わせることで有機農業に適した優良品種を育成するためには、長い年月と細かな世話が必要で経費もかかりますが、頒布に際しては、利用者が求めやすい金額に設定させていただいています。今や、品種育成から生産、頒布まで行う唯一の団体として高い評価を受けています。



特色  
その4

## 有機農業分野で トップクラスの稲作技術

安定した水稻栽培を自然農法や有機農業で行うためには、稲の健全な生育と水田の雑草対策が欠かせません。当センターでは、長年の研究によって、2つの課題をクリアしています。今や、有機農業の分野でトップクラスの稲作技術として認められつつあり、各地で実践されています。



特色  
その5

## 全国に実証圃場を整備

自然農法の技術の普及をはかるため、全国各地で実証圃場の整備を進めており、技術交流会を開催しています。賛助会員向けの機関誌「自然農法」の出版も行っています。



特色  
その6

## 国内の有機栽培農家の 10%を掌握

当センターは、平成12年に国が行う有機食品の検査認証制度における有機農産物等の生産者らの認証をする機関(登録認証機関)として平成12年に認可され、現在全国の有機認証農家(約3700戸)の約1割を認証しています。



賛助会員に入会された方には、当センター機関誌(年2回発行)並びに「自然農法の種子」の割引クーポンをお送りします(割引率は会費区分や注文方法により異なります。詳細はお問い合わせ下さい)。また、9,000円以上ご入金いただいた方に、自然農法栽培米(当センターオリジナル品種)をプレゼントいたします。

### 会費の種類(1口)

1. 個人会費 3,000円
2. 一般会費 10,000円
3. 法人会費 30,000円
4. 特別会費 100,000円



皆様からいただいた賛助会費は、寄付として全額社会貢献のための公益目的事業に活用させていただいています。また、確定申告や損金算入等の手続きをすることにより、税制の優遇措置が受けられます。

